

【図書館休館のお知らせ】

6月25日(木)は、館内整理日の為休館させていただきます。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため6月の行事は全て中止させていただきます。



全国和菓子協会に1979年より制定されてから41年経ちますが、残念ながらまだまだ知らない人も多いよう。そもそも「和菓子の日」とは？その由来と共に図書館の本を紹介します！

6月16日「和菓子の日」は、陰暦のこの日に餅や菓子を食べて厄払いをしたとされる行事「嘉祥(かじょう)」に由来するもの。嘉祥の歴史は平安時代にさかのぼりますが、室町時代から江戸時代にかけて広く浸透したとされます。明治時代に入り嘉祥は廃れたようですが、1979年になって、全国和菓子協会が「和菓子の日」として復活させました。



K59「和菓子のはん」福音館書店

中山圭子／文 阿部真由美／絵

季節や行事ごとの和菓子や、和菓子の材料と作り方などを紹介する楽しい絵本。



596.65「はじめてでもおいしく作れる和のお菓子」

和のお菓子大好き!の会／編 家の光協会

フライパンで作れる簡単おやつから、とっておき和菓子まで全104点。



913サ「まるまるの謎」

西條奈加／著 講談社

和菓子屋「南星屋」を舞台にし、治兵衛が作り出す諸国の和菓子を軸にして日常が展開していく。気持ちがほっこり甘くなる物語。



913サ「和菓子のアン」

坂本司／著 光文社

ちょっとぼっちゃりなアンちゃんがデパ地下の和菓子店でアルバイト。店長たちと一緒に謎を解く話。和菓子が食べたくなる作品♪



913タ「甘いもんでもおひとつ」

田牧大和／著 文藝春秋

菓子職人の兄と番頭の弟。上菓子屋兄弟の繁盛記。

「時代物×菓子屋」



913マ「風味[さんじゅうまる]」

まはら三桃／著 講談社

大正時代から続く和菓子のお店を切り盛りする家族の物語を、中2の女の子の視点で描く。



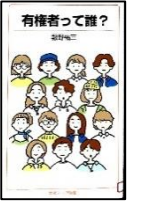


図書館新着本!

2020.4.13~2020.5.10



タイトル	著者名	出版社	請求記号
図解でわかる 14歳からの水と環境問題	インフォビジュアル研究所/著	太田出版	519
本好きの下剋上 第5部[1]	香月美夜/著	TOブックス	913カ
兄の名は、ジェシカ	ジョン・ポイン/著	あすなる書房	933ホ
ヤング・シャーロック・ホームズ vol.8	アンドリュー・レーン/著	静山社	933レ
心霊探偵八雲 ANOTHER FILES 祈りの枢	神永学/[著]	KADOKAWA	B913カ
有権者って誰?	藪野祐三/著	岩波書店	K31
博士の愛したジミな昆虫	金子修治/編著	岩波書店	K486



雨の日は読書を楽しもう!



雨の日が多く晴れの日が少なくなる「梅雨」が6月から7月にかけて続きます。あー。雨ばかりでつまらない……。そんな時は、家で読書を楽しみませんか?今回は“雨”をテーマに小説を集めてみました。



B913 ア 「雨の降る日は学校に行かない」

相沢沙呼/著 集英社

己の中に羨ましく嫌いな部分。それらを抱えながら学校という狭いコミュニティで円滑に暮らすべく、いじめや仲間外れ、スクールカーストに向かって必死にもがく学生たちを描いた短編集。

B91 イ 「死神の精度」

伊坂幸太郎/著 文藝春秋

死神が人間の生死を決定する世界。1週間前から人間の姿を借りて現れ始め、その日になったら人間の死を「可」か「見送り」と判断する。そんな死神<千葉>が主人公の6つの物語。

913 イ 「こんなにも優しい、世界の終わりが来た」

市川拓司/著 小学館

世界が青色の光に包まれ、光にあたると凍ってしまう。そんな中、主人公は中学生から好きだった彼女のもとに会いに行く。終わりがかけの世界でのラブストーリー。

B913 シ 「小説天気の子」

新海誠/[著] KADOKAWA

高校1年の夏、離島から家出し、東京にやってきた帆高は、降り続く雨の中、都会の片隅で、不思議な能力を持つ少女・陽菜に出会う。世界が狂っていく、そんな中でも自分たちで未来を「選択」する物語。



B91 ミ 「地下街の雨」

宮部みゆき/著 集英社

カラカラのお天気な物語はなく、どことなく薄暗く心がモヤっとする物語が寄り集まった短編集。ミステリー風味のものから人情ものまでを集めた7作。

